

(別表第1の4)

事業所名 グループホームすみれ

作成日: 令和 2年 5月 7日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	4b	課題が多すぎて全職員が把握しきれない。また入居者本人の希望や他職員からの案の取入れが十分でない。	①居室担当が主となり担当入居者の希望を聴きだす。 ②計画作成担当者は、職員間での意見交換を行い課題の優先順位を考慮し簡潔にまとめる。	①居室担当は担当入居者との関りを多く持ち、入居者が本音で話せる関係作りを行う。 ②計画作成担当者は、日々のケース記録に簡潔にまとめた課題を分かりやすく記載する。 (ケース記録用紙は既に変更。改善済)	6 か月	センター方式を活用し、アセスメントを行った。(居室担当だけでなく、全職員が接して感じた事やその時のエピソード等を記入)アセスメントを基に支援方法を見出している。(R2.8.31)
2	14c	入居者のできる事、得意な事を把握し実践しているが十分でない場面が見受けられる。	入居者一人一人のアセスメントをしっかりと行い「出来る事、得意な事」への取り組みが欠けないようにする。	①誰もが書きやすく見やすいアセスメントシートを作成する ②4bと同様に居室担当者が中心となり、入居者一人一人の「出来る事や得意とする事」を聴きだしまとめる。 ③①のアセスメントを元に全職員が入居者一人一人の「出来る事、得意な事」が行えるような場面を作る	6 か月	同上。センター方式を活用したアセスメントが職員全員に浸透しつつある。完璧に活用できるようになるには、あと一歩というところである。(R2.8.31)
3	13a	施設外への外出が困難な状況が続いた。現在においても新型コロナウイルスの影響で外出支援(買い物や公園散歩等)が行えない状況にある。 * 早急に屋上の環境を整える必要あり。	施設内の畑や庭、屋上を活用し外気に触れる機会を作る。	①屋上の環境整備を行う(実施済) ②屋上に植えた植物の水やりを毎日の日課とする。 ③おやつや体操などを屋上で実施する。	1 か月	屋上の環境整備を行い実施。毎日、水やりや外気浴を行うように改善した。(R2.5.31) 梅雨明け後は、日差しが強く体感温度も高い為、短時間で日陰のみにて気分転換を図った。(R2.8.31)
4	17h	職員が行う検食を毎食ではないが、入居者とは別の時間帯で摂る事があった。			か月	外部評価訪問調査後すぐに入居者と同時間に一緒に摂るよう改善済。
5	37、51	家族や地域住人を交えての交流会は、殆ど行えておらず、当施設ではもっとも大きな課題である。今年度より積極的な取り組みを試みているが、新型コロナウイルスの影響で当面は取り組み困難である。その為、新型コロナウイルス終息するまで見送る事とした。			か月	新型コロナウイルス終息するまでは見送り。

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。